

群馬県が発行する 「グリーンボンド」への投資について

大東京信用組合（理事長 内田通郎、以下「当組合」）は、このたび、群馬県（以下「本法人」）が発行する第1回公募公債（グリーンボンド）（以下「本債券」）への投資をいたしましたので、お知らせいたします（本債券発行日 2023年7月19日）。

「グリーンボンド」とは、調達資金の使途が環境配慮型投融資案件に資するものであることに限定された債券です。

本債券の発行により調達する資金は、再生可能エネルギー（県有施設における再生可能エネルギー設備導入）、エネルギー効率（県有施設の省エネ化）、生物自然資源及び土地利用に係る環境維持型管理（林道整備、尾瀬国立公園等の環境整備）、気候変動への適応（河川改修やため池整備等の水害対策、土砂災害防止施設（砂防、治山等）の整備、無電柱化推進）に充当される予定です。

また、本法人は本債券の発行にあたって、「群馬県サステナビリティボンド・フレームワーク」を策定し、第三者機関である株式会社格付投資情報センター（R&I）より、国際資本市場協会（ICMA）による「グリーンボンド原則 2021」、「ソーシャルボンド原則 2021」、「サステナビリティボンド・ガイドライン 2021」及び環境省の「グリーンボンドガイドライン（2022年版）」、金融庁の「ソーシャルボンドガイドライン（2021年版）」への適合性について、評価を受けております。

当組合は、今後もESG投資を通じて、SDGsの達成に貢献する事業を資金面からサポートし、持続可能な社会の形成に寄与すべく社会的使命・役割を果たしてまいります。

以上